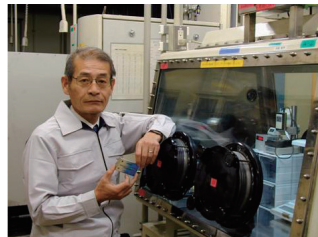


吉野彰氏 ノーベル化学賞受賞記念 特別限定頒布

本書は、2012年、新経営研究会が発足30周年を迎えさせていただき、その記念事業の一環として、1982～2015年に当会でご披露いただいたわが国を代表する画期的イノベーション、後世に伝えるべき“匠の技”と“ものづくり”、約800の事例の中から先ずは50事例を選ばせていただいて全18巻に収録し、2012年から7年をかけて発刊させていただいた中の1巻です。

この度の吉野彰様のノーベル化学賞のご受章を祝し、その記念として残部僅少ではありますが、限定500部、一人でも多くの方に触れていただきたく、頒布させていただくことといたしました。

この巻には、世界初のリチウムイオン電池の製品化開発に成功したソニーの当時の開発リーダー 西美緒氏、又世界初のEV用高性能リチウムイオン電池システムの開発に取り組み、自動車に革新をもたらした日産自動車の堀江英明氏、お二人の夢と苦闘の軌跡を合わせて収録させていただいております。是非、ご高読ください。



吉野 彰氏
旭化成(株) フェロー

実は、この研究は新型二次電池の開発がスタートだったのではなく、このころは機能性プラスチックの勃興期で、そこに白川英樹先生が導電性プラスチックを発明されてノーベル化学賞を受賞された。そこでわれわれも電気を通す機能性プラスチックとしてポリアセチレンの研究を始めていこう、このようにして始まった研究がそもその発端だったのです。(本文より内容抜粋)

私がよく受ける質問は、「二次電池の負極にカーボンを使うというのは、吉野さんが初めて提案されたのでしょうか」という質問です。実はノーなのです。(中略)

1981年に三洋電機さんと東レさん。(中略)一年遅れで鐘紡さん。(中略)二年遅れて三洋化成さんと三菱油化(現在の三菱化成)さん。それから旭化成です。(中略)

(前略)東レさんは、高分子焼成体を負極に使うという内容です。(中略)東レさんの提案が権利化されており、東レさんが基本特許を手になさった筈です。最終的にどうなったかと言いますと、東レさんは途中で研究を中断されて、出願していた特許は審査請求されなかったのです。(中略)部外者の私から見ても残念です。

三番目は鐘紡さん、(中略)四番目は三洋化成さん。その提案は、炭素を負極にして正極はカルコゲンを使うというものです。カルコゲンというのは金属酸化物、金属硫化物などを包括的に定義する非常に広い概念の言葉です。ですから、今のリチウムイオン電池を丸々包括しています。本来ですと、リチウムイオン電池の基本特許ホルダーは三洋化成さんだったのです。では、なぜ三洋化成さんは今そうならないのかと言いますと、この発明者の林さんが特許出願の時に大失敗をされてしまったのです。(中略)そこで目出たく6番目の旭化成がやっと当り籤を引いた、ということになりかけたのですけれども、実はここで私も、特許出願時に大失敗をやらしてしまったのです。



西 美緒氏
盛田会長のビジョン、大賀社長の期待を受けてスタートしたソニーのリチウムイオン電池の商品化開発



堀江 英明氏
世界初 EV用高性能リチウムイオン電池システムの研究開発

【定 価】

1冊ご購入 4,500円+消費税450円=4,950円/冊
3冊以上ご購入 4,200円+消費税420円=4,620円/冊
10冊以上ご購入 3,800円+消費税380円=4,180円/冊

※別途送料が掛かります
大きさ、重量、お届け先に依り異なります。
1冊ご送本の場合は全国一律520円(レターパック)

新経営研究会

TEL : 03 (3265) 4341
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-9 DIK 麹町804
office@shinkeiken.com

イノベーション 日本の軌跡



5

FMT アーカイブ

リチウムイオン電池の基本概念の確立、
その実用化開発への夢と苦闘

旭化成
吉野 彰

盛田会長のビジョン、大賀社長の期待を担ってスタートした
ソニーの独自技術 リチウムイオン電池の商品化開発

ソニー
西 美緒

世界初 EV用高性能リチウムイオン電池システムの研究開発
— 自動車の革新を超えて —

日産自動車
堀江英明

新経営研究会

【概要】

本文/製本：A-5版 縦組 282頁 ハードカバー 上製本

送 本：送料を別途ご負担いただきます(地域・冊数で
異なります)

【お振込先】

みずほ銀行 麹町支店 普通 1460648
三菱UFJ銀行 麹町中央支店 普通 1280556
りそな銀行 市ヶ谷支店 普通 1364070
口座名：新経営研究会

イノベーション 日本の軌跡 第5巻 申込書

■会社名		■連絡担当者(部・課・氏名)	
■所在地 〒		■電話	
		■FAX	
		■mail	
■ご氏名		■ご所属・お役職名	
ふりがな			
■申込口数 _____ 冊		■備考	

FAXにてお申込下さい ➡ FAX : 03 (3238) 1791